


# 施策マネジメントシート(2021年度の振り返り、総括)

作成日 2022 年 7 月 1 日

基本目標	II	豊かな自然と共生するまち	主管課	名称 課長	総合戦略課 林 市治	
施策	13	人と自然の共生の推進	関係課	農林課 林業振興係/生活水道課 環境政策係/観光商工課 自然観光係		

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名	対象	意図
				1 保全活動の推進(まもる力)	①町民、町外の人 ②みなかみユネスコエコパークの自然環境	①保全活動を積極的に行う。 ②まもられる。
①町民 ②町外の人 ③みなかみユネスコエコパークの自然環境	①自然環境に対する意識を高め、人と自然が共生する取り組みを積極的に行う。 ②町の自然資源の価値を認識して、関わりを増やす。 ③保全され、後世に引き継がれる。		基本事業	2 自然資源の活用(いかす力)	①町民、町外の人 ②みなかみユネスコエコパークの自然環境	①自然資源を活用する。 ②いかされる。
				3 豊かな自然の啓発(ひろめる力)	①町民、町外の人 ②みなかみユネスコエコパークの自然環境	①自然の豊かさや大切さを認識する。 ②ひろめられる。
				4		

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の豊かな自然と暮らしが共生してきたことの理解を深めるとともに保全活動を積極的に推進します。</li> <li>・町内の暮らしのまわりにある自然環境の調査研究を推進するとともに環境教育を推進します。</li> <li>・身近な自然である里山環境を整備するとともに、そこから得られる木材や自然エネルギーなどの地域資源を有効に活用します。</li> <li>・河川空間を利用して隣接区域とともに良好なまちと水辺が融合した空間形成に取り組みます。</li> <li>・ユネスコエコパークの理念に基づき取り組みを通じて、SDGs達成への貢献を目指します。</li> </ul>
---------	---

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H29)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
				A	人と自然が共生する取り組みを行っている町民の割合	%	実績値	実績なし	15.9	16.4
B	町内の自然環境が守られていると感じる町民の割合	%	実績値	64.2	67.8	63.1	67.4	65.2	65.5	
			目標値		65.0	66.0	67.0	68.0	69.0	70.0
C	みなかみユネスコエコパークの認知度・理解度	%	実績値	実績なし	88.7	88.3	88.4	88.0	85.7	
			目標値		70.0	75.0	80.0	85.0	90.0	
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法	<p>A) 直接的な設問であり、数値が高まれば「自然環境に対する意識」目標が達成されていると言えるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 まもる・いかす・ひろめる取り組みの3項目の平均を実績値とする。 ※あなたは日頃、町内において自然と共生する取り組みを行っていますか。→「全て行っていない」と回答しなかった人の割合(まもる取り組み、いかす取り組み、ひろめる取り組みの平均値)</p> <p>B) 直接的な設問であり、数値が高まれば「自然環境に対する意識」「保全され、引き継がれる」目標が達成されていると言えるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※町内の自然環境が守られていると感じますか。→「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合</p> <p>C) 直接的な設問であり、数値が高まれば「自然環境に対する意識」目標が達成されていると言えるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※あなたは、町が「ユネスコエコパーク」へ登録されたことを知っていますか。また、「ユネスコエコパーク」の趣旨についても知っていますか。→「知らない」と回答しなかった人の割合</p>
目標値設定の考え方	<p>A) 人と自然が共生する取り組みを行っている町民の割合は、みなかみ・水・「環境力宣言」にある、まもる力、いかす力、ひろめる力に沿って町民がどのような関わりを有しているかを数値化するもので、現状では設問から2人に1人が何らかの関わりを持っているものと考えられるので、2022年度は地道に施策を展開し毎年2%ずつ増やし60%を目標とする。</p> <p>B) 町内の自然環境が守られていると感じる町民の割合は、従来からのアンケートから65%をスタートに2022年度は毎年1%ずつ増やし70%を目標とする。なお、当該アンケートは漠然としているの各種施策を展開しても数値には反映しないものとする。</p> <p>C) みなかみユネスコエコパークの認知度・理解度は2017年の登録を契機に2017年度調査の42%を大きく上回り町民4人に3人弱が知っていると考え70%をスタートに積極的に周知に努め2022年度は90%を目標とする。</p>

施策のための目的・役割分担	<p>1. 町民(事業所、地域、団体)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから高齢者まで、町の自然に理解を深めること、自然を守ること、自然にふれあうことに取り組む。</li> <li>・家庭や事業所において、省エネルギーや環境にやさしい活動に取り組む。</li> </ul> <p>2. 行政(町、県、国)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みなかみユネスコエコパークの登録を町内外に周知しその理念に基づいたまちづくりを行う。</li> <li>・自然環境の保全、調査研究を行う。</li> <li>・群馬県自然環境保全条例の適正運用とみなかみユネスコエコパークの周知及び自然環境の調査・研究を行う。</li> <li>・自然公園法等の適正運用とみなかみユネスコエコパークの周知及び自然環境の調査・研究を行う。</li> <li>・谷川岳エコツーリズム推進全体構想に基づいた取り組みを推進する。</li> </ul>
---------------	---

施策を取り巻く状況	<p>1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2017年6月14日みなかみユネスコエコパークが登録される。</li> <li>・森林環境税の創設が2018年度税制改正の大綱に盛り込まれる。(2017年12月22日)</li> <li>・SDGs未来都市選定(2019年7月1日)</li> <li>・2021年5月「2050年の脱炭素社会実現」に向け地球温暖化対策推進法改正。</li> </ul> <p>2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林資源を積極的に活用し産業を振興するべきである。</li> <li>・みなかみユネスコエコパーク登録を契機にその理念に基づいたまちづくりを行うべき。</li> <li>・自然環境を守りつつ、それをうまく活用するべきである。</li> <li>・自然環境の保全とみなかみユネスコエコパークの関わりなどについて出前講座などを開催して町民の意識の向上のため啓発活動が必要である。</li> <li>・自然環境保全地区や貴重な動植物生息地域、景観が優れている地域などを町民が関わり指定する制度などが必要である。</li> </ul>
-----------	---

施策	13	人と自然の共生の推進	主管課	名称	総合戦略課
				課長	林 市治

実績比較		背景・要因
① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。	<p>①人と自然が共生する取り組みを行っている町民の割合は、平成29年度15.9%、平成30年度16.4%と微増した。その後は令和元年度14.8%、令和2年度21.4%と増加したが、令和3年度は18.3%と減少した。</p> <p>②町内の自然環境が守られていると感じている町民の割合は、平成29年度67.8%、平成30年度63.1%と減少したが、令和元年度67.4%、令和2年度65.2%、令和3年度65.5%とほぼ横ばい状態である。</p> <p>③みなかみユネスコエコパークの認知度・理解度は、平成29年度88.7%、平成30年度88.3%、令和元年度88.4%、令和2年度88.0%、令和3年度85.7%とほぼ横ばいであった。</p>
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態)	
② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり低下した。	<p>環境力宣言、ユネスコエコパークへの登録、SDGs未来都市認定など、本町の人と自然の共生に係る取り組みは、近隣市町村と比べ盛んである。具体的には、</p> <p>①谷川岳一ノ倉沢交通規制の実施。県内で交通規制を実施しているのは片品村(尾瀬)のみ。電気バス2台を運行。</p> <p>②みなかみ町自然環境及び生物多様性を守り育てるため昆虫等の保護を推進する条例制定(平成23年4月1日)</p> <p>③エコツーリズム推進全体構想が平成24年6月29日に国から認定された。(全国3番目。国立公園としては当時初めての認定)</p> <p>④赤谷プロジェクト活動支援事業(生物多様性の復元と持続的な地域づくりを進める取り組みは全国で2カ所のみ)</p> <p>⑤みなかみユネスコエコパークの登録(平成29年6月14日)。国内の登録地は現在10カ所のみであり、ユネスコの国際的なプログラムであり高い水準の取り組みと言える。</p> <p>⑥森を育む広葉樹産業化プロジェクトに関する協定書締結(平成30年12月10日)</p> <p>⑦日本ユネスコエコパークネットワーク(JBRN)とイオン環境財団との連携協定に基づいたBR啓発活動を実施している。(みなかみBRフェア、イオンチアーズクラブ等)</p> <p>⑧SDGs未来都市選定(令和元年7月1日)</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> かなり高い水準である。	
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。	
③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。	<p>①人と自然が共生する取り組みを行っている町民の割合は、目標値58.0%に対し18.3%となり目標値を大きく下回った。</p> <p>②町内の自然環境が守られていると感じている町民の割合は、目標値69.0%に対し65.5%となり目標を下回った。</p> <p>③みなかみユネスコエコパークの認知度・理解度は、目標値85.0%に対し85.7%となり目標どりの成果であった。</p>
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。	
	<input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	
④ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。	<p>①人と自然が共生する取り組みを行っている町民の割合は、目標値58.0%に対し18.3%となり目標値を大きく下回った。</p> <p>②町内の自然環境が守られていると感じている町民の割合は、目標値69.0%に対し65.5%となり目標を下回った。</p> <p>③みなかみユネスコエコパークの認知度・理解度は、目標値85.0%に対し85.7%となり目標どりの成果であった。</p>
	<input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。	
	<input type="checkbox"/> ほぼ目標値どりの成果であった。	
⑤ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。	<p>①人と自然が共生する取り組みを行っている町民の割合は、目標値58.0%に対し18.3%となり目標値を大きく下回った。</p> <p>②町内の自然環境が守られていると感じている町民の割合は、目標値69.0%に対し65.5%となり目標を下回った。</p> <p>③みなかみユネスコエコパークの認知度・理解度は、目標値85.0%に対し85.7%となり目標どりの成果であった。</p>
	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	
	<input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。	

基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	
1 保全活動の推進(まもる力)	A 里山などの整備や野生動物・植物の保全活動をしている町民の割合	%	実績値	実績なし	9	12.3	10.6	11.8	10.2	
	目標値			25.0	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0	
B 森林整備面積		ha	実績値	90.92	107.92	118.23	176.51	154.16	112.74	
	目標値			106.00	110.00	110.00	120.00	120.00	130.00	
2 自然資源の活用(いかす力)	A エコツアーへの参加者数	人	実績値	2,092	3,377	2,840	5,790	2,476	253	
	目標値			3,500	3,960	4,420	4,880	4,950	5,000	
B 自然を活用した活動をしている町民の割合		%	実績値	実績なし	24	24.9	22.0	34.8	31.4	
	目標値			25.0	27.0	29.0	31.0	33.0	35.0	
3 豊かな自然の啓発(ひろめる力)	A みなかみユネスコエコパークのホームページへのアクセス数	件	実績値	実績なし	59,280	38,077	31,604	27,970	37,136	
	目標値			30,000	31,000	32,000	33,000	34,000	35,000	
B 自然とのふれあいを楽しんだり伝えている町民の割合		%	実績値	実績なし	14	11.9	11.9	17.5	13.4	
	目標値			50.0	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0	
4	A		実績値							
	目標値									
B			実績値							
	目標値									

基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
1 保全活動の推進(まもる力)	<p>①自然環境の現状を把握すると共に町民自身が自然環境の保全活動に積極的に取り組むための仕組みづくり。</p> <p>②森林経営管理法、森林環境税・譲与税の新たな仕組みへの対応(いかす・ひろめるにも関連)</p> <p>③森林環境の保全</p>	<p>①自然環境の現状調査及び課題の整理(保全計画)。みなかみBR推進方針2030に基づいた具体的な取組の検討と実行。</p> <p>②森林の所有や経営、整備等に関する具体的な意向等について調査を実施し、対象森林の情報収集を行う。</p> <p>③森林環境譲与税を財源とし、森林環境の保全を図るため、管理が必要な森林の整備を実施し、森林が有する多面的機能の発揮に資する事業を推進する。</p>
2 自然資源の活用(いかす力)	<p>①木材や自然エネルギーなど地域資源を有効に活用する。</p> <p>②自然資源の持続可能な利活用を目指した産業の活性化。</p> <p>③観光、農林業、商工業等の経済活動における、みなかみ町ブランドとして付加価値をつける。</p>	<p>①木材や自然エネルギーの地産地消を推進し、木材が循環するための調査及び仕組みを検討する。</p> <p>②地域の自然環境の保護・保全を図りつつ、それら自然資源を持続可能な形で利活用することで、地域の社会及び経済の発展を図ることを目指す。自伐型林業の推進、広葉樹などのBR資源を活かした産業モデルの構築。流木を活用した新プロジェクトの実施③BRブランドの確立のため、認証制度の調査・研究。</p>
3 豊かな自然の啓発(ひろめる力)	<p>①豊かな自然を啓発する人材育成</p> <p>②参加者に適した環境学習プログラムの整備</p> <p>③町の豊かな自然を再認識してもらう</p> <p>④町民にBRの理念等を普及する。</p> <p>⑤子ども達等に対するBR、SDGsの浸透</p> <p>⑥環境省との連携</p>	<p>①環境教育、自然環境保全、木育、自伐型林業などに携わる人材の育成。</p> <p>②赤谷プロジェクト・エコツーリズム協議会・ホテルを守る会などの関係者と協議し環境学習のテーマやプログラムの調整を図る。</p> <p>③みなかみの自然とくらしの概要版やみなかみBR推進方針2030を活用して自然の重要性を啓発。</p> <p>④町民等を対象としたBRの普及等の研修会を継続して開催する。</p> <p>⑤町内外の子ども達等への環境教育、SDGsの普及啓発、木育の推進及び強化。</p> <p>⑥谷川岳インフォメーションセンターの活用</p>

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000010	赤谷プロジェクト活動費補助事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	200,000 円			
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進		プロジェクトの各種会議やイベント等への参加や、地域協議会との協力連携による支援と地域への普及啓発を行う。		赤谷プロジェクト関連会議、活動にオブザーバーとして参加し意見交換および情報共有に努めた。R2に引き続き町役場幹部と意見交換会を計画したが、コロナ禍のため対象者を限定し開催した。		事業実績			
	基本事業	01	保全活動の推進(まもる力)						赤谷プロジェクト会議等(企画運営会議、企画調整会議、ほか)への参加回数			
組織名		総合戦略 課		企画政策 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間		継続事業		会計	1 款	2 項	1 目	11	プロジェクトの事業とユネスコエコパークに基づく町の考えや取組を共有し相互の取組にいかす。		プロジェクト協定の更新において、ユネスコエコパークとの連携強化に係る文言が追記されるなど協力関係がより強固となっている。さらなる連携に努めたい。	
				令和 2年度	令和 3年度	単位		12	7	回		

令和 4 年 8 月 1 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	庁内エコ活動推進事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	528,000 円			
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進		平成22年改正省エネルギー法の施行により、エネルギーの原油換算使用量が1500t以上の事業者を特定事業者指定し、削減のための中長期計画の策定・定期報告書の提出が義務づけられている。地球温暖化対策法では、温暖化対策の実行計画の策定を義務づけ、温室効果ガスの削減に努めることとされています。町は、平成22年10月に省エネルギー法による特定事業者指定を受け、平成21年12月には地球温暖化対策法に基づき「みなみ町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」を策定し、事業にあつている。		第3次実行計画に沿って、毎年0.5%のCO2排出量を削減に向け取り組んだ。		事業実績			
	基本事業	01	保全活動の推進(まもる力)						CO2換算温室効果ガス排出量			
組織名		生活水道 課		環境政策 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間		継続事業		会計	1 款	2 項	1 目	11	COP21で決議されたCO2削減対策に対し、庁舎一体となった、より一層の削減対策や中長期計画の見直しが必要となっている。		今年度の達成状況を確認しながら、計画に沿って毎年0.5%の削減に取り組む。	
				令和 2年度	令和 3年度	単位		6764	6,562	t-CO2		

令和 4 年 8 月 1 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000009	環境対応車推進事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	1,568,365 円			
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進		・電気自動車急速充電器設備の管理(町内4カ所道の駅)町内に訪れる観光客や電気自動車ユーザーに環境に配慮した取り組みを町内外へアピールし、排出されるCO2を削減します。		急速充電器保守業務委託料の見直しを行った。		事業実績			
	基本事業	01	保全活動の推進(まもる力)						急速充電器利用台数(累計)			
組織名		生活水道 課		環境政策 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間		継続事業		会計	1 款	2 項	1 目	11	早くに導入したため課金機能が無く無料で充電できるため、利用者には大変喜ばれている。電気料と維持管理費が道の駅での買い物等に繋がっていただければ良いが、今後の充電機器の更新をどのようにしていくかが課題		道の駅に設置している充電設備について、設置から9年が経過し今後の維持管理が懸念されるため、今後の運用を検討する。	
				令和 2年度	令和 3年度	単位		2102	2,144	台		

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000011	ホテル保護事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	526,077 円			
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進		生活環境のバロメーター「ホテル」をはじめとする水棲生物等の生息地の整備など、自然の共生や環境保全を推進し、自然に親しむ機会の拡充に努めます。ホテルを守る会等と協力し、ホテル観賞会や小学校でのホテル教室など環境教育を推進します。さらに、観光資源として地域の活性化につなげます。ホテル関係施設の管理、ホテル観賞会、環境教育(ホテル教室)の実施、ホテル生息地・発生数等の調査を実施しています。		コロナウイルス感染症対策のため観賞会やイベントは中止となったが、保護活動やホテル教室については、予防対策をとりながら活動した。		事業実績			
	基本事業	01	保全活動の推進(まもる力)						ホテル教室・保護育成活動参加延人数			
組織名		生活水道 課		環境政策 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間		継続事業		会計	1 款	4 項	1 目	5	ホテルの情報(生息も含め)を発信し、保護するもの、観光とするものがマナーを守り共存していく必要がある。		活動に参加する皆さんの高齢化やコロナ対策を考えながら、無理ないように活動を継続していく。	
				令和 2年度	令和 3年度	単位		1714	375	人		

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000012	藤原里山保全事業		① 事務事業の内容				③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	10,000 円		
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進		①上ノ原の茅場再生事業、藤原地区の古道復活事業、森林整備水主催のイベント等への協力。②森林整備水との連絡調整。				コロナウィルス感染症対策のため茅焼きなど中止となった。他の取り組みについても規模を縮小して活動を継続した。				事業実績		
	基本事業	01	保全活動の推進(まもる力)										②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策
組織名	生活水道 課		環境政策 係		イベントの参加者が減っているため、宿泊に結びつかない。また、野焼きの実施、中止の判断に関して認識のずれがある。				森林整備水との連携について検討する必要がある。				令和 2年度	令和 3年度	単位
事業期間	継続事業	会計	1 款	7 項									2 目	2	50

令和 4 年 8 月 1 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000028	松くい虫駆除・防除事業		① 事務事業の内容				③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	1,611,440 円		
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進		・保全松林周辺対策事業(県単) 道路側や公共施設付近の松食い虫被害末を伐倒し、周辺への拡大を防ぐもの。				上津地内の山林で被害が広がっているため、地元区長に樹種転換事業の導入を勧め、群馬県により事業を着手予定。				事業実績		
	基本事業	01	保全活動の推進(まもる力)										②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策
組織名	農林 課		林業振興 係		現在では被害広がり深刻であり、優先順位をつけて実施していかなければならない。				上津地内では、生活道としての林道に松の倒木が多発しているため、樹種転換事業の導入を勧めていく。				令和 2年度	令和 3年度	単位
事業期間	継続事業	会計	1 款	6 項									2 目	2	57.26

令和 4 年 8 月 1 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000031	利根川源流森林整備隊活動事業		① 事務事業の内容				③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	100,000 円		
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進		主な事業主体である利根沼田森林組合と協力してボランティアや林業従事者からなる利根川源流森林整備隊を組織し、山に親しんでもらい林業の発展につなげる。				群馬県県民活動支援・広聴課へNPO登録についての相談を行った。				事業実績		
	基本事業	01	保全活動の推進(まもる力)										②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策
組織名	農林 課		林業振興 係		現在、収益活動を行っておらず、NPO組織を見直す必要がある。				関係者により組織の見直しについて、引き続き検討を継続する。				令和 2年度	令和 3年度	単位
事業期間	継続事業	会計	1 款	6 項									2 目	2	1

令和 4 年 8 月 1 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000029	ナラ枯れ対策事業		① 事務事業の内容				③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	2,919,100 円		
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進		カシノガキクイムシによるナラ枯れの防除・被害木の伐倒等				ナラ枯れ対策として、県の指導の下、防除方法、事業箇所の位置や設置期間を計画して、おとり丸太及び粘着シートを設置した。				事業実績		
	基本事業	01	保全活動の推進(まもる力)										②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策
組織名	農林 課		林業振興 係		奈女沢・小仁田へと被害が町北部から南下してきている。				カシノガキクイムシの実態が解明されていないため、県の指導の下、有効な防除対策を実施していく。				令和 2年度	令和 3年度	単位
事業期間	継続事業	会計	1 款	6 項									2 目	2	1





令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000017	森の恵と学びの家管理運営事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	2,096,648 円	
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		事業実績		
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)					来店者数		
組織名	総合戦略 課		企画政策 係		令和 2年度		令和 3年度	単位		
事業期間	継続事業	会計	1 款	2 項	1 目	7	1944	1745	人	
				① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果				
				② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
				① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果				
				② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	小水力発電施設管理事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	220,000 円	
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		事業実績		
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)					年間発電量		
組織名	生活水道 課		環境政策 係		令和 2年度		令和 3年度	単位		
事業期間	継続事業	会計	1 款	2 項	1 目	11	27258	33233	kWh	
				① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果				
				② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
				① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果				
				② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	住宅省エネルギー設備設置費補助事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	2,647,000 円	
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		事業実績		
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)					太陽光発電設備設置申請件数 ・高効率給湯設備設置申請件数		
組織名	生活水道 課		環境政策 係		令和 2年度		令和 3年度	単位		
事業期間	継続事業	会計	1 款	2 項	1 目	11	8・44	8・41	件	
				① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果				
				② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
				① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果				
				② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				

令和 4 年 8 月 1 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000021	広葉樹産業化プロジェクト事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	1,805,897 円	
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		事業実績		
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)					町産材広葉樹製品化実績数		
組織名	農林 課		林業振興 係		令和 2年度		令和 3年度	単位		
事業期間	継続事業	会計	1 款	2 項	1 目	7	1	3	0	
				① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果				
				② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
				① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果				
				② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				

令和 4 年 8 月 1 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000019		特用林産物加工施設管理運営事業				① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	60,000 円					
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進				藤原平出の特用林産物加工施設の管理について、土地の賃借契約および使用料の支払いと、商工会との管理委託契約の締結	—	事業実績						
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)						利用者数						
組織名		農林 課		林業振興 係				② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策						
事業期間	継続事業		会計	1	款	6	項	2	目	2	継続して事業を実施する。		令和 2年度	令和 3年度	単位
											26	38	人		

令和 4 年 8 月 1 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000016		薪ストーブ等設置費補助事業				① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,939,000 円					
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進				町民等が薪ストーブ等を購入する経費に対して補助金を交付するもの。	—	事業実績						
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)						補助金交付件数・補助金交付額						
組織名		農林 課		林業振興 係				② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策						
事業期間	継続事業		会計	1	款	6	項	2	目	2	課題なし		令和 2年度	令和 3年度	単位
											24・5,400	20・3,939	件・千円		

令和 4 年 8 月 1 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000040		森林活用推進事業				① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	9,790,000 円					
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進				管理等の行き届いていない森林等の把握や活用されていない森林の掘り起こし、新たな森林の活用を喚起するマッチング等に向けた取り組みを実施するもの	—	事業実績						
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)						森林整備面積						
組織名		農林 課		林業振興 係				② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策						
事業期間	継続事業		会計	1	款	6	項	2	目	2	森林所有者や森林の現況等の調査方法の検討、森林のマッチングに向けた調査結果(情報)の運用方法 等		令和 2年度	令和 3年度	単位
											154.16	112.74	ha		

令和 4 年 8 月 1 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000041		森林資源循環プロジェクト事業				① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,980,000 円					
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進				森林資源の様々な活用する仕組みを構築し、地域内で資源を循環させることで、木材等の流通を促し、地域内経済の新たな循環や創出を図るもの	—	事業実績						
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)						森林活用協議会の木材流通搬出量						
組織名		農林 課		林業振興 係				② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策						
事業期間	継続事業		会計	1	款	6	項	2	目	2	拠点となる用地の確保、予算措置木材集積拠点の運用に関する事項		令和 2年度	令和 3年度	単位
											16,238	19,664	立米		



令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000014	かわまちづくり事業(水辺活用プラン)		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	36,930,357 円		
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進	河川占用基準の緩和や国によるかわまちづくり支援制度を活用し、今までに無い河川の利用方法を検討、実施する		群馬県及び関係機関との協議、親水公園整備工事の実施。先進地視察等を行った。		事業実績			
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)					水紀行館入館者数			
組織名		観光商工 課		商工振興 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業	会計	1 款	2 項	1 目	11	地域住民と地域事業者、河川管理者(群馬県)と一体となった取り組みが不可欠	関係機関及び地域事業者と一体となった継続的な取り組み	令和 2年度	令和 3年度	単位
								167,512	172,733	人	

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000039	親水公園管理運営事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	131,741 円		
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進	阿能川親水公園・須川川親水公園の維持管理事業である。阿能川区・入須川活性化委員会が管理を行っている。		-		事業実績			
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)					管理上の問題発生(対処)件数			
組織名		地域整備 課		都市計画 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業	会計	1 款	8 項	3 目	1	課題なし。	-	令和 2年度	令和 3年度	単位
								0	0	件	

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000008	矢瀬親水公園管理運営事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	9,961,259 円		
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進	矢瀬親水公園の維持管理事業である。維持管理は、月夜野は一べすとへ委託している。		直営により支障木を伐採した。吊り橋の修繕を行った。		事業実績			
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)					管理上の問題発生(対処)件数			
組織名		地域整備 課		都市計画 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業	会計	1 款	8 項	4 目	4	公園内や公園進入路付近の樹木が大きくなり、車両等の通行に支障を来している。吊り橋が老朽化し、危険な状況である。	施設の老朽化が進行しているため、計画的な施設整備を検討する。	令和 2年度	令和 3年度	単位
								4	3	件	

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 4 年 7 月 19 日更新)

事務事業	000001	環境教育推進事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	516,805 円		
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進	町内外の方に町の環境資源を活用した環境教育を行い、町内の人材を育成すると共に、首都圏や利根川流域圏などの交流を推進し、自然環境の大切さの情報を発信していく。また、町内の全小中学生を対象に行う。		町内の全小中学生を対象としているが、全員には実施できなかった。利根商業高校や町外の中学生を対象として事業が実施できた。		事業実績			
	基本事業	03	豊かな自然の啓発(ひろめる力)					参加者数			
組織名		総合戦略 課		企画政策 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業	会計	1 款	2 項	1 目	11	小中学生については実施ができていたので、それ以外の方に対する対応が必要。	町内小中学校の環境教育の授業に積極的に関わり、地元有識者を特別講師として活用してもらいなどの取組を進める。また、特別講師として参画できる方の養成を進める。	令和 2年度	令和 3年度	単位
								106	444	人	

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000002	環境ポスターコンクール事業				① 事務事業の内容			③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	48,120 円	
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進				環境美化・地球温暖化・循環型社会に対する意識の啓発と郷土愛を育むことを目的とし、町内各小中学校を対象に環境ポスターコンクールを行ってきた。エコパーク登録を契機にみなかみユネスコエコパークポスターとして募集を行う。 夏休みの作品として学校を通じ応募を行う。夏休み後、応募作品を取りまとめる、審査し、表彰を行います。優秀作品は、町の文化祭や役場などに展示します。			エコパーク・ほたるポスターと連携して募集を行った。			事業実績		
	基本事業	03	豊かな自然の啓発(ひろめる力)										ポスター応募数		
組織名		生活水道 課		環境政策 係			② 事務事業の課題			④ 今後の方針・課題解決策			令和 2年度	令和 3年度	単位
事業期間	継続事業	会計	1	款	4	項	1	目	5	特になし。			児童生徒数は毎年減少しているが、継続することが大事である。		
													63	87	件